



新春のご挨拶

株式会社スカイ 代表取締役 金澤 和孝

謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。旧年中はひとかたならぬご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、「元号が「平成」から「令和」へと改まった記念すべき年でありました。これを機に、新しく「何か」を試みられた方は沢山いらっしやったことと思います。

昨年の4月から「働き方改革関連法」が施行され、ワークライフバランスという言葉を様々な場所でするようになりました。弊社では、以前から各部署毎に様々な取り組みを行っておりましたが、施行以後には、この関連法を中心に取り組んで参りました。

本年度においても、関連各位のご理解の上、販売・製造の各セクションにおいて合理化・効率化を進めて参りたいと思っております。

私達のお財布に直結するところでは、10月に消費税が8%

から10%に増税されました。増税前後の影響は各業種により様々ですが、軽減税率やキヤッシュレス決済による複雑な税率の変化が、経理部門の業務を煩雑にさせています。更には3年後にインボイス制度(*)も義務化されるそうです。

桜や付度の為に、税の複雑な処理や負担増を強いられるというイメージは、子供の頃によくテレビで見た時代劇の悪代官そのものです。時代劇であれば、そろそろヒーローが出てくるのでしようが、そうは上手くいきません。

しかし、幅広い層に「税金の集め方、使い方」に、興味や注意という一種の危機感が強く生まれた年であった様に思われます。

さて、あまり実感がなかった「オリンピック需要」でしたが、今年度開催された後はどうなってしまうのでしょうか。

全体的な景況感を含め、現状において是非常に先行きの暗いイメージが強く、新しい取り組み

にチャレンジする事にも、以前より躊躇しがちな情勢となっている様に感じられます。

さらに春からは建築士法の一部改正や、120年ぶりに行われる民法大改正が控えております。今まで行っていた作業や習慣、考え方を大きく見直す事が必要となります。契約書や保証書といった、様々な書類の改定が必要となってくる訳ですが、なんとなく閉塞感の漂う年はじめになりそうだと感じてしまいます。

この様な情勢ではありませんが、弊社においての今年度の取り組みを申し上げます。

作業環境改善と生産性向上を目指し、一昨年前の横架材加工機の入替えに続き、柱加工機のライン再構築を行っていきます。現状よりもCAD入力から加工までの工程をより単純明快な流れにする事により、梱包作業時での入忘れが無く、精度の高い商品となります。

この他にも、環境問題や施工の合理化に繋がる商品のご提案



を随時させていただきたいと思っております。

今後皆様方にとって、より利便性のある商品とサービスの提供に努めます。そして、ものづくりの根本である「心を込めた商品」を、日々現場へお届けできるように一同努力する所存であります。

本年もご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

※インボイス制度
課税事業者が発行する、インボイス(適格請求書)に記載された消費税額のみを控除することが出来る方式。課税事業者はインボイスの発行が義務付けられる。

スカイ壁。パネル製造開始のお知らせ

自然環境の悪化が進む中、昨年も又、国内全土に渡って風水害を中心に深刻な被害を受けました。

災害のレベルが、年を追う毎に激甚化してくると考えられている中で、私達の業界に対しては、より堅牢な建物造りへの要望が寄せられています。

スカイがつくる壁パネルのメリット

《建物の強化》

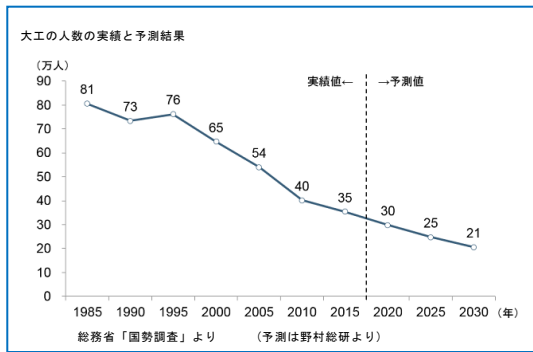


災害に対する建物の性能向上と言えば、「劣化対策」、「停電対策」等、様々あります。構造躯体を扱うプレカスト工場として、スカイの目指す壁パネルは、『より強靱な建物造

り』を最重要課題と捉えています。

《現場の“省”工程数化》

建物の質的向上が渴望される一方、業界を取り巻く実状としては、職人不足や大工職の技能低下といった、施工上の深刻な問題が未解決なままです。



特に大工職の人数は、10年後には21万人まで減少し、更には大工職の減少が、新築着工数の

減少を上回ると予測されています。

その為、海外からの労働力に頼らざるを得ないのが現実です。これらを背景に、今までと同じ様な作業工程を辿り、同レベルの施工を維持・継承していく事はなかなか困難だという声を度々耳にするようになりまして、この解決策の一つとして、パネル化は工程圧縮の有効な手段となります。

《打合せ時間の短縮》



通常のプレカットの打ち合わせ時に、羽柄カットと同じように壁パネルをご依頼頂くことで、発注までの時間が削減されます。更に、壁量計算や構造計算も同時に依頼頂くことでその情報を基にした正確な壁パネルの提供が可能になります。まためて対応できるので、皆様の発注にかかる時間もいくらかは削減できるのではないのでしょうか。

《納品の段取りはプレカットと一元化》

プレカットと壁パネルをご注文頂くことにより、プレカットと壁パネルを混在させて現場へお届けすることが可能となります。納品時間の調整の心配もなく、必要な部材をジャストインタイムで配送いたします。

壁パネルの仕様

種類	おさまり	壁倍率	
告示	パーティクルボード、MDF (9mm)	真壁、真壁床勝ち	2.5倍
		真壁、真壁床勝ち	4.0倍
	針葉樹合板 (9mm)	真壁、真壁床勝ち	2.5倍
		真壁、真壁床勝ち	3.3倍
大臣認定	ノボパン (パーティクル)	真壁、真壁床勝ち	2.6倍
	ハイベストウッド (MDF)	真壁、真壁床勝ち	2.5倍
	針葉樹合板 (12mm)	真壁床勝ち	4.0倍

【規格】

<形状> 真壁 四方枠

<耐力面材の種類>
針葉樹合板・パーティクルボード・MDF

<断熱材> ※オプション
押出法ポリスチレンフォーム
フェノールフォーム

上記の通り、特別な仕様は一切ありません。

皆様が普段施工されている仕様に合わせてお使いいただく事を第一に考慮し、使い勝手の良いパネルを目指しています。また、当然ですがフランチャイズの様に縛りや登録等の煩わしさは一切ありません。

このパネルをご利用いただく事により、現場施工の省力化はもとより、適切な壁量を出す為に必要な釘のピッチやめり込みが均一な仕上がりでのご提供となる為、今後懸念される施工瑕疵の問題点を一部払拭できます。

より身近で利用し易くなった「パネル工法」を是非一度ご検討ください。

営業部一同、商品についてのお問い合わせを心よりお待ちしております。

柱材加工ラインの更新

生産性の質的向上を目指す

スカイでは、昨年末に豊岡本社工場のメイン横架材ラインの更新を行いました。

最新鋭の並列型横架材ラインを導入した効果は大きく、単位時間あたりの加工量は3割向上・使用電力量は2割削減・工場メンバの労働時間も大きく短縮する事が出来ました。

又、大断面特殊加工機も2機ラインに繋げた事で、大工職による手加工作業の削減も合わせて行い、特殊加工に関しては、機械加工による、より短納期でより正確な加工を実現しました。

横架材ラインの更新に続き、今期末に柱材のライン更新を計画しています。この加工機更新の目的は、横架材ラインの更新と同様、単位時間あたりの生産性向上にあります。即ち、作業メンバの労働時間の削減・最新鋭機械による機械加工領域の拡大・作業者手間の削減などが挙げられます。

目標とする向上数値は、横架材ライン更新と同様、単位時間あたりの生産数量3割アップを

目指します。

スカイでは「スカイ版働き方改革」として、最新鋭の生産性の高い機械設備を導入する事と、新たな加工システムを構築する事で、作業メンバの労働時間の削減と作業手間の軽減を進めています。

今回の柱材のライン更新は、工場での作業性向上のみではありません。CAD設計部門での入力作業性を向上させる事も前提に、ライン選定とその加工用途も考慮し、新たな加工システムの再構築も合わせて行います。又、木口への自動印字装置の導入も行い、現場施工時に確認し易い製品作りも行っています。

スカイでは今後も、施工現場からの要望に沿ったプレカット商品の提供を目指します。そして社員の待遇報酬をはじめ、労働環境改善を進めていく為に、最新鋭の工場設備の導入を計画的に行っていきます。

生産本部 木俣敦志

建築士法改正

保存対象図書拡大

国土交通省は、2020年3月1日より、建築士法施行規則を改正します。

これまで保存が義務付けられていなかった、4号建築物や建築確認の不要な建築物にも、壁量計算、四分割法の計算及びN値計算に係る図書等について15年間の保存が義務化されます。

今回の改正では、申請や提出の追加義務はなく、あくまで建築士事務所における「保存」です。

これは違法建築を減らすための手段として、建築士事務所への負荷とも捉えられますが、この改正により、施主等が建築物の構造安全性に対する不安や疑いが生じた場合に、建築士事務所がその根拠の一部を立証できるようになります。

施主の保護を図ると謳われていますが、結果的には、建築士を守ることに繋がります。

スカイとしても、建築構造の安全性確保を再確認すると共に、N値計算・壁量計算・各種伏図の提供に関して、積極的に取り組んで参ります。

上記内容はじめ、構造計算等でお困りの際は、営業担当までお問い合わせ下さい。

改正の概要

全ての建築物について、配置図・各階平面図・二面以上の立面図・二面以上の断面図・基礎伏図・各階床伏図・小屋伏図・構造詳細図・構造計算書等(※)・工事監理報告書の15年間の保存が義務付けられます。

※構造計算書等とは、

- ①保有水平耐力計算、限界耐力計算、許容応力度等計算などの構造計算書
- ②仕様規定の適用除外のただし書で必要な構造計算、燃えしろ設計に係る構造計算等の構造の安全性を確認するために行った構造計算の計算書
- ③壁量計算、四分割法の計算、N値計算に係る図書

設計が建築基準法第6条第1項第2号又は第3号に係る図書である場合	左記以外の場合	
	建築士でなければできない設計又は工事監理に係る図書である場合	左記以外の場合(100㎡以下の2階建て木造の建築物等の設計又は工事監理に係る図書である場合)
保存図書の追加 ・構造計算書等の一部(ただし書の計算書、壁量計算書等)	保存図書の追加 ・基礎伏図 ・小屋伏図 ・構造計算書等(構造計算書、ただし書の計算書、壁量計算書等)	新規義務付け ・上記下線部の全ての図書



国土交通省資料より

有為を捨て、無為に生きる

一酔三幸寮主

二〇二〇年を迎えて、世界中が愈々本格的な変革期に突入する事を想うと、私は興味と困惑を伴った「怖いもの見たさ」に胸躍る。もしかすると、自分自身も巻き込まれるかもしれない社会的混乱・動乱の時代かも知れないから、眼を凝らして観察する必要がある。

だが（携帯電話が、同一世代では未だ主流（？）なのだった。少々肩スカシを喰ったような感じではあったが、お互いに最後まで使い続けることを確認し合っただけで済んだ。……扱って、果たして誰が最後まで残るか、興味津々ではある。

還暦を経て、且つ更に一週して年男になる自分だが、日常生活では努めて心掛けていることがある。……という程の大したものではないのだが、それは「無為に生きる」の一語に尽きる。

この私の携帯電話に、先日面白いメールが入っていた。『有料サイト未納料金の件ご連絡なき場合、電子消費者契約法に基づく法的手続きに着手。パシフィック債権回収（原文のまま）』というもの。

無為とは、何の役にも立たず、しかし出来るだけ人に迷惑を懸けずに生息する、というぐらいの意味である。

電話番号も記されており、面白いものだと思う。眺め乍ら、さてどの様に対処しようかと想像を巡らせた。

二か月ほど前に、同窓会が二つほどあって、それに参加した。携帯電話を使っていたら、同級の何人かが「何だ、お前もガラケーか？」と言って、各々自分のものを披露しあった。

この横着な文章からは、様々な物語が産まれて来そうで、私の時間潰しにはもってこいの材料である。まさに無為に生きる為の栄養剤というところだ。

意外であった。当今のスマホ時代、「私だけかな…」と思っていた旧式（型）だけ

さて、今の私には、余分な情報などと言うものは面倒なだけだ。しかし、私なりに「知りたい」という欲求は発生するので、その時

には辞書や書庫の故本から探すことになる。

即ち、記憶を総動員して掘り返す作業をするのだが、これ又、まさに無為の所業である。

ところで、私の記憶では、バブル崩壊後から「経済効果」の語句が飛び交うようになったと思う。行為や作業の価値を金銭的価値（経済効果）に置き換える事が当然とされる思考方法なのだが、私は全く同意出来ない。同様に、経済成長至上主義に染められた社会の仕組みには何ら同調感も湧かない。

しかし、北欧（スウェーデン）のトゥンベリという16歳の少女の言動と表情に新鮮な感動を覚えたり、昨年末にアフガンで殺害された中村哲氏の軌跡には尊崇の想いがあるのみだ。

この人達と経済成長の思想は結びつかない。無関係とは言わないまでも、価値観は全く逆と云って良い。

それだからという訳でも無いが、私は出来るだけ経済効果を求めず、無為清貧に生きていきたいとボンヤリ乍ら想っている。

環境問題への

取り組み

『梱包資材の削減』

既にメディア等で報じられている通り、「プラスチックごみによる海洋汚染」により海洋環境や生物に深刻なダメージを与えていることが地球規模で問題となっており、生態系への影響が懸念されています。

また、CO2排出量を削減する対策としてレジ袋をはじめとするプラスチックごみの排出量の削減を求められるなか、2020年4月から「スーパーにおけるレジ袋有料化」を義務付ける方針を昨年6月に政府が表明いたしました。

私達の属する業界としても、プラスチックごみ削減への対応を迫られています。スカイのプレカスト製品は環境への配慮や通気性を考慮し、最小限のビニールにて梱包しております。

その為、屋外で保管する場合にはブルーシート等で養生する必要があるのですが、スカイではブルーシートの使用量削減や再利用推進を目的とし、既に皆様には「ブルーシートの有料販売」をさせていただいております。

今後、スカイでは我々の環境改

善活動にご賛同いただき、皆様より頂戴しているブルーシート代金の一部を環境対策団体に寄付させていただく事といたしました。

引き続き、ご理解ご協力の程、よろしくお願いたします。



関東営業部 鈴木 拓也

編集後記

明けましておめでとうございませう。今年はずいぶんです。子年生まれの方は、環境への適応能力が高く、コミュニケーション能力に長けているそうです。また、儉約家で不要なものにお金を使わない人が多いとか。

当たってますでしょうか？ さて、子年は十二支の始まりという事で、何かを始めるのに向いているそうです。

当てにならない年金を期待せず、コツコツとドル建て年金型貯蓄でも始めてみようかと思えます。